

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年7月6日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 17 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	屋外トレンチ内の非常用ディーゼル発電設備燃料配管において、腐食が認められたため、当該配管を補修。	D	
2	1号機	原子炉建屋地下1階のケーブルトレイにおいて、ケーブルに損傷が認められたため、当該ケーブルを補修。	D	
3	1号機	再循環ポンプ(B)駆動モータ下部ガイド軸受温度記録計の指示において、指示不良(オーバースケール)が認められたため、当該温度計を点検。	D	
4	1号機	主復水器連続洗浄装置(C2)ボール循環ポンプ及び弁電源ケーブル用電線管において、異音が認められたため、当該箇所を点検。	D	
5	2号機	原子炉水位計の記録計において、水位計指示に瞬時変動復帰が認められたため、対応検討。	D	
6	2号機	非常用ガス処理系(A)入口流量計指示値において、停止中に指示不良(ドリフト)が認められたため、対応検討。	D	
7	2号機	低圧炉心スプレイ系の系統圧力調整時、ベント弁開操作するところ誤ってドレン弁開操作を実施したため、対応検討。	C	
8	3号機	屋外トレンチ内の非常用ディーゼル発電設備燃料配管において、腐食が認められたため、当該配管を補修。	D	
9	4号機	原子燃料集合体管理システムのデータベース検索時、チャンネルボックスの名称(チャンネルバジ)登録に誤りが認められたため、当該箇所を訂正。	D	
10	4号機	主復水器連続洗浄装置点検時、装置弁9台に弁体腐食及び本体塗装剥離が認められたため、当該弁を補修。	D	
11	4号機	復水ポンプ(A)用電動機点検時、中継端子箱側フレキシブル電線管取付具に損傷が認められたため、当該部を交換。	D	
12	4号機	主蒸気管放射線モニタ(D)点検時、検出器サポート金具のネジが折損したため、当該箇所を修理。	D	

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
13	4号機	主復水器(C)冷却管点検時、侵食管(1本)が認められたため、当該管に閉止栓を取付。	D	
14	4号機	低圧タービン(A)内部車室締め付けボルト用ナット(2個)において、侵食が認められたため、当該ナットを交換。	D	
15	4号機	低圧タービン(A)ローター動翼磁粉探傷検査時、指示模様が認められたため、当該箇所を補修。	D	
16	4号機	湿分分離器(A)ドレンタンク水位計入口弁点検時、弁棒に腐食が認められたため、当該箇所を補修。	D	
17	4号機	気体廃棄物処理系排ガス再結合装置(A)出口弁用電磁弁点検時、電磁弁パッキン部より空気漏れが認められたため、当該弁を交換。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉の停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障</li> <li>* 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など</li> </ul> </li> <li>・原子炉への異物の混入 など</li> </ul>
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい</li> <li>・圧力抑制室等への異物の混入</li> <li>・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

\* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A s : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ  
電話 0240-25-1353